

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表							
事業所名		てらぴあぽけっと大倉山教室					
公表日		2025年 11月 20日					
利用児童数		年 月 日 回収 52/53					
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	51	1	0	0	・ひとりになれるスペースもあり切替やすいと思う。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	50	2	0	0	・グループ支援を行っているのは知っているが個別支援も継続して欲しい ・異動があるので専門職の先生が増えると嬉しい。 ・お子様の状況により支援形態を変更させて頂く場合がございます。その際は予め、保護者様の同意を得た上で、実施するように致します。 ・専門職による支援・助言の場をご提供できますよう、情報共有や特別プログラム等の開催を検討してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	0	0	1	・視覚補助のツールを用いたり、お子様の状況に応じて環境整備をするよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	52	0	0	0	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	51	1	0	0	・子どもに合わせて活動してもらっています。 ・引き続き職員一同、専門性の向上、支援力の向上に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	51	1	0	0	・職員へ質問やご意見がしやすい環境を整えてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	51	1	0	0	・専門的な視点で立案、助言をしていただきありがとうございます。 ・保護者様との面談やお子様のご様子を踏まえた支援計画を作成していますが、より丁寧な作成を心掛けてまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47	2	0	3	・児童発達支援ガイドラインは、子ども家庭の公式サイトにてダウンロードいただく事が可能です。ご不明手はお気軽にお尋ねください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50	2	0	0	・児童発達支援計画に沿った丁寧な支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48	3	0	1	・支援内容が固定化することのないよう、日々のミーティングや研修等を通して支援内容の工夫、支援力の向上を目指してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	7	14	12	・保育所とどの程度連携しているのか知りたいです。 ・現状に満足しています。 ・不定期ですが近隣の保育所へ訪問させて頂いております。 ・また、ご利用者様の通園される保育所等との連携は、ご希望に応じて日時等を設定しております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	51	0	0	1	・ご契約の際にご説明させていただいている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	52	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	11	5	7	無回答:2 ・そのような場をまだ見たことがありません。 ・保護者が参観できる機会があれば嬉しい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	49	1	0	0	無回答:1 ・保護者様が話しやすいフィードバックや面談の場を確保できるよう努めています。 ・児童発達支援計画の作成に伴い、最低6か月に1回以上は面談の場を設けさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50	0	0	1	無回答:1
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50	2	0	0	・お子様のご様子を共有しながら、お子様の利益を最優先とした支援の実施をしてまいります。 職員、教室へのご要望はお気軽にお申し付けください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	8	23	11	無回答:1 ・必要性は感じていない。 ・開催してもらっても時間をとるのは難しいので今のままが良いです。 ・もし開催してもらえるならぜひ参加したいです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	5	1	2	・まだ利用したことがない。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	50	1	0	1	無回答:1 ・日々のフィードバックや定期的な面談の機会を設けさせて頂いています。また、ご相談いただいた際には迅速丁寧な対応ができるよう、職員間で共通認識をもつようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	11	2	5	・リタリコ発達ナビのブログや教室LIVEにて情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50	0	0	2	・個人情報を記入している書類は全て、鍵付きキャビネットにて保管しております。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	34	5	1	11	無回答:1	・各種マニュアルは教室入口に設置しております。 必要に応じて訓練もおこなっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	1	3	15	・行われているのか知りません。	・年に2回、お子様も参加の訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	3	1	6		・計画につきましては教室入口に設置しております。ご不明点はいつでもお尋ねください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	3	0	5		・事故等を想定した訓練、研修は定期的に行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	51	0	0	1		・お子様が安心して通っていただけるよう、共感的な関わり、環境整備を行って参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	49	2	1	0	・楽しく通っています。	・お子様が楽しいと感じる中でできること、好きなことを増やしていくよう、支援させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	51	1	0	0	・専門職の先生方に関わって頂き親子ともてらひあが大好きです。 ・様々な活動を取り入れていただき、保護者へのアドバイスも的確で大変勉強になっています。	・お子様・保護者様に十分に満足いただける支援を提供できますよう、職員一同、専門性の向上を図り、丁寧な支援を行ってまいります。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらぴあぽけっと大倉山教室				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	お子様の体格、年齢に応じて部屋を決めるようにしています。	引きつづき、集団指導、個別指導部屋を分けて対応していきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		人員配置基準、加算要件を満たす配置していますが、日によって手薄になることもあります。状況に応じて柔軟に対応しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	玄関から教室まで階段があるため、必要に応じて職員が送迎のサポートをしています。	バリアフリー基準を満たした設備となっており、集団活動部屋、個別活動部屋と構造化した環境になっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	日常清掃を行い、環境整備に努めています。	冷暖房設備の点検が定期的に行えるよう、管理簿の準備をします。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	お子様の状況に応じて、部屋を使い分けるようになります。	お子様の意思表出のサインを見逃さず、求める環境で過ごせるよう対応していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	PDCAサイクルを心掛け、職員間での共有方法も工夫しています。	こまやかな共有ができるよう、共有方法の工夫を意識します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		てらぴあぽけっとのホームページ上に結果を公表しています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	互いに感じたことを交流し、次意向の支援や業務に活かすようにしています。	意見交換の場が少ない感じる職員もいるため、できるかぎりこまめに交流の時間を設定していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7		実施していませんが、必要に応じて実施の検討を致します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	研修成果を事業所内で共有し、全体で知識や技術の向上を目指していきます。	外部の研修、内部研修を活用しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	お子様の様子に合わせたプログラムを作成し、ホームページやブログにて公表しています。	てらぴあぽけっとのホームページや教室ホームページにて公表しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		児童発達支援計画を作成する際には、お子様の様子・保護者様との面談の内容を職員で共有した後、多面的かつ客観的な視点から支援目標を決定できるようにしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	支援を担当制ではなく、順に担当することで多角的な視点からお子様を捉えられるようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		個別支援計画に沿った支援を行っています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4	専門職によるフォーマルなアセスメントを行うこともあります。	状況における適切な方法を使い分け、お子様の状況をアセスメントし、支援計画や支援内容に取り入れていきます。
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に記載されているか。	10	0		ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	日々職員間でアイディア、お子様の様子を共有し、支援プログラムに反映しています。	日々のミーティングの他、支援前後の時間を活用して、共通認識、目的意識をもって支援を行なうようにしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		プログラムや自由遊びの種類が偏ってしまうこともあるので、教材の点検や入れ替えを定期的に行ないます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	日々個別活動、集団活動に参加できるようなプログラムを準備しています。	一人ひとり、その日の状況に応じて個別活動、集団活動を選択できるようにもしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	9	1	朝礼の他、お子様をお迎えする前に支援の流れを確認しています。	日によって時間に十分に確保できない事もあります。共有方法を工夫していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	終礼を実施しています。	共有方法を工夫することで、さらによい振り返りにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		客観的な視点での記入をこころがけ、どの職員が見てもわかりやすい記録となるよう、記録の方法についての研修も実施してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	10	0		6ヶ月に1度以上のモニタリングを実施しています。

	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	無回答:わからない 児童発達支援管理者、職員が参加し情報共有を行いました。	今後も開催の際は専任者が出席の上、情報共有が出来るようになります。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	ご要望を頂いた際には、出来る限り地域の保育所等、各関係機関と連携を図らせて頂いております。	今後も保護者様のご要望に応じて、適切な方法で地域内各機関や移行先との連携体制を整えて参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	各機関に訪問する他、併行利用先の方に来所いただき、支援内容等の情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	無回答1:わからない 就学引継ぎシート等を活用して、支援内容の共有を行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1	地域リハビリテーションセンターの参観日には、複数職員が訪問し、支援の見学の他、助言をいただきました。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	近隣の保育所等に訪問し、職員の方やお子様と接する機会をいただきました。	園との交流はあってもこどもたちと交流する場が限られているため、出来る方法を用いて交流できるようにしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	フィードバックや面談の際に実施しています。	引き続き、丁寧なフィードバックや面談の実施に努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	ご自宅や園生活で出来る事を共有したり、効果的な声掛けなどを伝えています。	より満足感の感じやすいフィードバックや勉強会の実施を検討していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		契約時に丁寧に説明しています。また、不明点や質問にあるときは都度お答えしています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1		お子様、保護者様の意思・最善の利益を優先することに考慮して、児童発達支援計画を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		計画書を相互で確認しながら内容を説明し、同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		ご希望に応じて面談の機会を設定しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	9		前年度父母の会の実施はありませんでした。 今後、実施に向けて検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		相談の申入れがあった際には迅速に対応すること、また適切な回答ができるよう職員間で徹底しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	定期的にブログ配信をしています。	リタリコ発達ナビや公式LINEを通じて行事や事業所状況のご案内をしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		個人情報が記載された書類等は鍵付きキャビネットで保管しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		それぞれのお子様が得意とする方法（視覚補助・習慣化した流れを導入する等）をとるようにしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		実施できません。 ニーズ調査を行い、必要に応じて開催を検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	各マニュアルを作成し、定期的に内容の見直しと職員への周知をしています。	年間計画に定められた研修や訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	定期的に災害備蓄品の確認、訓練と研修を行っています。	定められた期間内での訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		保護者様から共有を頂いた際には、丁寧に聞き取りを行い把握に努めています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		医師の指示が必要なケースはまだありません。 状況に応じて適切な対応を行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		定められている計画の作成、訓練を実施しています。参加できなかった職員へは別の方で周知をしています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		契約時に丁寧に説明を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット報告書の作成と振り返りの時間を設けています。	事業所におけるヒヤリハットの傾向を、報告書やミーティングを通じて共有し、再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		外部、内部研修により理解を深めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		保護者の方へは契約時に丁寧に説明を行っています。職員間では、身体拘束を選択する場合の条件について、共通認識を持てるよう事業所内研修を行っています。

事業所における自己評価総括表

公表					
○事業所名	てらぴあぽけっと大倉山教室				
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ~ 2025年 8月 31日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数)	52	
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日 ~ 2025年 8月 31日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	10	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 1日				

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・各職員がお子様や保護者様の想いを最優先事項ととらえ、保護者様の想いに寄り添った面談、助言を意識的に行っていること。	・日々のミーティングだけでなく、支援前後に情報共有を自然に行うようにしている。 ・保護者さまから相談事をお受けした際は、安心してお話できる場所をご提案の上、内容を伺うようにしている。	・共通の困り感やご要望がある保護者様を対象とした保護者会などを企画するといいのではないか。
2	・複数の専門職の配置がなされていること。	・担当するお子様に順に支援に入ることができるよう、支援担当振りの際は偏りがないようにしている。	・専門資格を有する職員から内部研修を行ったり、保護者の方に向けた勉強会などを行うと、より満足感を感じていただけるのではないか。
3	・楽しんで通っているお子様、安心して預けてくださる保護者様の割合が多いこと。	・1回1回の支援や相談援助を丁寧に行なうことができている。 ・お子様が好きなことや得意なことを活用して、賞賛の声掛けや笑顔の多い雰囲気があるように心掛けている。	・プログラム内容や教材が固定化しないよう、研修に参加したり、定期的に教材を入れ替えるなどの取り組みをしていきます。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域内各関係機関との連携が十分にできていないこと。	・他施設側からの依頼など、相手方からのご希望により実施することが多い。	・積極的に訪問をするなどして、事業所の存在を周知する。 ・利用者様の生活の基盤は「地域」であることの認識を改めて持つようにする。
2	・保護者会の実施ができていない	・支援の時間を最優先としているため、時間的・場所的に確保することが難しく、実施に至らなかつた。	・現地での開催にこだわることなく、オンラインなどの方法も検討していく。。
3	・各種マニュアルの作成や訓練の実施について、保護者様に周知ができていないこと。	・各種マニュアルがどのようなものであるのか十分に周知できていないため意識が向きづらいのではないか。 ・ご契約の説明時に具体的な説明を行うといいのではないか。	・研修や訓練の報告を教室に掲示するなど、共有方法を見直す。 ・各種マニュアルの設置場所を保護者の方が目にしやすい場所に変更する。